

2017年6月20日

新製品「USG-3」発表

このたび太陽工機は、CNC超小型立形研削盤USG-3を発売いたします。

当社は、1991年に立形研削盤を開発してから、多くのお客様の製造現場の工程革新・高精度化に貢献してまいりました。この立形研削盤をより多くのお客様に採用していただくべく、2016年7月には、小型量産パーツの加工に高い評価をいただいているベストセラー機種(IGVシリーズ)に比べ、機械幅を大幅に抑えた超小型立形研削盤「USG-1」を開発いたしました。当機種は、発表直後より自動車等の小型量産部品を加工するお客様から高い評価をいただいております。

そしてこの度、小型量産パーツの中でも「USG-1」より大型パーツ向けの新たなラインナップ機種「USG-3」を開発いたしました。

当機種は、従来機よりフロアスペースを大幅に削減することで、工場の生産性を飛躍的に高めしており、「USG-1」とともに小型量産パーツメーカーへの戦略機種として、当社の次世代を担う立形研削盤の1つです。

今後とも当社は、お客様のニーズを満たす製品・技術の開発に常にチャレンジし、世界の製造業の発展に貢献してまいります。

1. コンセプト

— フロアスペースの効率化による工場の生産性の向上を実現

超小型立形複合研削盤 USG シリーズの第2弾 —



新製品の概要【USG-3】

品名	CNC超小型立形研削盤	
機種名	USG-3	
定価 ・ 本体価格	I (内研軸1スピンドル仕様)	16,300,000円+税
	E (外研軸1スピンドル仕様)	16,300,000円+税
	P (2スピンドル仕様)	19,500,000円+税
販売先・市場	小型量産パーツメーカー (自動車ミッションギアを含む小型部品)	
販売開始	2017年6月	
販売目標	年間40台	

Press Release

2. 新製品の特徴

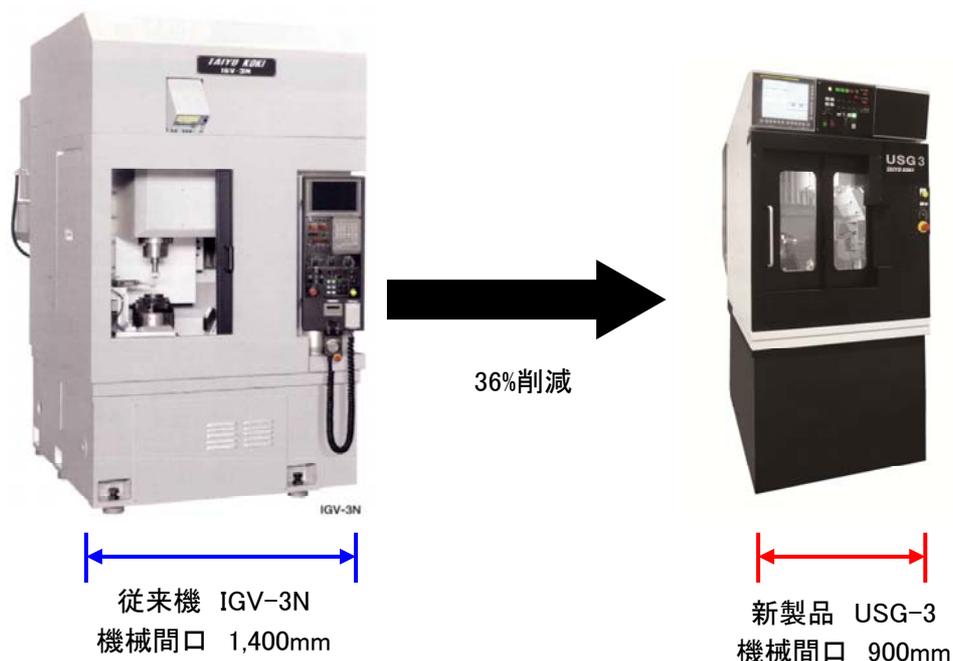
(1) ターゲットユーザー

小型量産パーツメーカー向け

ターゲット部品：自動車ミッションギアを含む小型部品

(2) フロアスペースの効率化

機械間口を900mm(従来機比36%削減)にすることで、同一スペースにおける設置台数の増加や作業者の移動距離を最小限に抑える事ができ、工場の面積生産性を飛躍的に向上させました。



(3) 作業性の向上

機械正面からワーク主軸中心までの距離を360mmに接近させることで、ワークの脱着などの日常作業の作業性を向上させました。

(4) 複合仕様

内研1軸仕様、外研1軸仕様と併せて、内研軸と外研軸の2本の砥石軸を搭載させた2スピンドル仕様(クシバ仕様)の合わせて3種類の機種をラインナップしており、クシバ仕様は2本の砥石軸により、効率よくワンチャックでの内径・外径・端面の複合加工を実現いたします。

Press Release

主な仕様

(単位:mm)

項 目		USG-3			
		I (内研軸1スピンドル仕様)	E (外研軸1スピンドル仕様)	P (2スピンドル仕様)	
能力	研削できる内径	φ(23)~φ160	—	φ(23)~φ100	
	研削できる外径	—	φ200	φ150	
	研削できる長さ(内径)	100	—	100	
	研削できる長さ(外径)	—	80		
	主軸の振り	φ380	φ300		
	取付可能加工物高さ	300(治具を含む)			
	主軸積載可能重量	200 kg(治具を含む)			
砥石軸	内研	回転速度	9,000~45,000 min ⁻¹	—	9,000~45,000 min ⁻¹
		使用砥石径	φ(20)~φ100	—	φ(20)~φ80
		最高使用周速度	2,700m/min	—	2,700m/min
	外研	回転速度	—	~3,500 min ⁻¹	
		使用砥石径	—	φ305	
		最高使用周速度	—	2,700m/min	
ワーク主軸	駆動タイプ	ビルトイン駆動			
	回転速度	~800 min ⁻¹			
X軸	移動量	395	325		
	移動速度	16,000 mm/min			
	最小設定単位	0.0001			
Z軸	移動量	265	310		
	移動速度	16,000 mm/min			
	最小設定単位	0.0001			
電源容量		24 KVA	16 KVA	29 KVA	
機械重量		4,000 kg			
所要床面積		900 ^W × 2,000 ^D × 2,200 ^H			
N C 装置		FANUC F32iB			